

決算審査特別委員会

第49号議案・平成21年度白石市各会計歳入歳出決算の認定については、定例会2日目(9月6日)の本会議において質疑が行われた後、議長及び監査委員(議会議長選出)を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・山谷清、副委員長・大町栄信)で、9月8日及び9日の2日間にわたる審査の結果、反対及び賛成の討論ののち表決の結果、賛成多数で認定しました。審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

〔質疑〕宮城県ふるさと雇用再生特別基金事業のひとり暮らし高齢者サポート事業はどのように実施したのか。

〔答弁〕介護保険に該当しない方で、65歳以上のひとり暮らし高齢者、あるいは高齢者世帯の自宅にサポート員を派遣して、軽度な生活支援を行うという事業である。

〔質疑〕平成21年度の特定健診の受診率目標は何%で、実際の受診率はどうだったのか。全国平均、県内平均との比較ではどうなのか伺いたい。また、特定健診の受診率を向上させるためにどのような工夫をされたか伺いたい。

〔答弁〕平成21年度の目標受診率は50%で、実際に行った受診率は45.4%。県の平均受診率は47.6%、国においては30.8%となっている。

受診率向上策として、8月号の「広報しろいし」に特集を載せ、特定健診の必要性について周知している。

また、働いている方については、土曜日の健診・夜間の健診等も実施していければと考えている。集団健診が無理な方については、個別健診も実施しているので、周知していきたいと考えている。

〔質疑〕当市において不在者の戸籍が残っている状況について伺いたい。

〔答弁〕戸籍が残っているケースとして、民法と戸籍法の改正・戦争などで死亡したケース・身寄りがなくて死亡届が出されなかったケース・海外移住されたケース・身元のわからない行き倒れのケースなどが考えられる。当市において100歳以上の高齢者消除此に該当する方は20名いるが、消除此には、法務局に申請を出すことになっている。戸籍は住民票とは違い、人の身分関係を登録・公証する公文書なので、届け出がないと消除此できないが、このように問題になっているので、今後は監督法務局と、連携を密にしながら適正に事務処理を行っていききたい。

〔質疑〕川原子ダムの出口で、pH(水素イオン濃度)の基準値がオーバーしているが、原因をどのように捉えているのか。

〔答弁〕多少アルカリ性が強かったということを理解して

いる。原因としては、一般論として、洗濯排水の流入などが考えられる。

〔質疑〕学校給食において、こだわり米(白石産の農薬・化学肥料節減栽培米)を年間どのくらい消費しているのか。

〔答弁〕毎年11月から3月までの期間に、こだわり米を提供しており、総量は平成21年度で21トンである。

〔質疑〕女性特有のがん検診事業について、若い方の受診率が低い事が、大きな課題である。学校教育の中でがんを未然に防ぐための検診を早期に受けるよう教育していく必要があると思うが、どのように考えるか伺いたい。

〔答弁〕産婦人科の先生をお呼びするなどし、中学生に講義を行っていただき、女性特有のがん検診ということについての啓蒙も図っていききたい。

平成21年度 一般会計・特別会計決算の状況

〔単位：円〕

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	15,392,516,113	14,963,783,799	428,732,314
特別会計	7,337,563,128	6,926,552,459	411,010,669
国民健康保険	4,284,332,249	3,986,458,096	297,874,153
地方卸売市場事業	9,857,184	1,924,826	7,932,358
老人保健	27,483,868	23,415,522	4,068,346
介護保険	2,686,473,038	2,589,945,548	96,527,490
後期高齢者医療	329,416,789	324,808,467	4,608,322
合計	22,730,079,241	21,890,336,258	839,742,983

平成21年度 企業会計決算の収支状況

(消費税相当額を含む)〔単位：円〕

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	875,350,531	947,922,608
下水道事業	857,858,132	858,795,926